

# 日常におけるXR活用

情報システム技術科 准教授 糸川 剛

- コンピュータの小型高性能化が進み、必要なときにコンピュータの画面を凝視するのではなく、常に視界にコンピュータからの情報が映る状態が当たり前になる未来が想定される。
- VR（仮想現実）やAR（拡張現実）を包括するXRの活用範囲は、医療や機器保守、娯楽といった専門分野から既に広がりを見せている。
- 日常的にXRを利用するようになる近い将来を見据え、XR技術を活用するアプリケーション、ユーザインタフェースの試作・研究を行っている。



VR校内見学画面



AR観光案内画面